

補助事業番号 24-4-15

補助事業名 平成24年度（復興支援）被災者支援拠点づくり活動補助事業

補助事業者名 特定非営利法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク

## 1 補助事業の概要

### （1）事業の目的

昨年度設置した拠点「復興支援センター小名浜」を軸に、人と人が対話し支え合いのきっかけとなる場づくりと連携づくりに取り組む。

1. 復興支援センター小名浜を拠点に行政区を超えた県外支援のネットワーク形成をすすめる。
2. 原発事故被災者が思いを語るテーマ型サロン「円居の場」を開催して、メンタルなサポートを行う。
3. 県外避難者といわき市民との交流を進める。

### （2）実施内容

① 3.11被災者を支援するいわき連絡協議会（通称：みんぷく）参画

#### ② テーマ型サロン「円居の場」の開催

\* 円居の場は、NPO法人CoCoTが、「震災を経て表面化した問題、震災からの再生といったテーマを、関心のある者たち同志が集まって、語り、聴き、考え、表現していく場」である。

○ 「円居の場（まどいのば）」第1弾「3.11震災後の暮らしを考える若者たちの集い」

日時：平成24年8月12日（日） 13:00～16:00 （開場12:40）

場所：まつど市民活動サポートセンター 大会議室

内容：今後、様々な切り口から、震災関連のテーマを扱っていく。

\* ゲストの三原由起子さん、新妻孔太さんは、PRAYLIFE というふくしまの声を紡ぐ活動をしてきた双葉郡出身のかた。

\* 東日本大震災・福島第一原発事故と向き合い、生きていく。FUKUSHIMA発の [PRAYLIFE](#)



○円居の場 in 松戸『被災者・避難者・支援者の枠組みを越えて語り合おう』を

日時：平成24年12月17日(月) 11:30~13:30

場所：松戸市矢切「蔵のギャラリー・喫茶 結花」

内容：南相馬市からの避難中の高田恵子さんを囲んで、8名の参加者とスタッフで大きなテーブルを囲み、震災・原発事故後の暮らしの中で日々感じていることを語りあいました。ランチの後は、紙粘土やビーズを使ってそれぞれの思いを表現し、順番に発表しました。皆で輪になっていただいた結花さん特製ミニランチ、おいしさは格別でした。

12月17日 円居の場 in まつど 第2回

「被災者・避難者・支援者の枠組みを越えて語り合おう」



役割を強めた人、役割をなくした人、役割を奪られる人、役割にとまどう人...

まだ、震災後の暮らしを考える  
円居の場 in まつど 第2回

3.11震災以降の私たちの暮らしは、「被災者・支援者」、「被災した人・しななかった人」、「活動した人・しなない人」といった「枠組み」に、大きく影響を受けました。

蔵のギャラリーで  
お昼・ミニランチ囲んで

### 被災者・避難者・支援者の 枠組みを越えて語り合おう

震災から1年9か月、3.11をきっかけに南相馬市から「避難中」の高田けいこさんと一緒に、「被災者」「支援者」という枠組みを越えて、震災以降の日本に生きる私たちの、という共通の位置から、一人一人の暮らしの声を交り合わせ、震災後の暮らしについて、語り合いたいと思います。

円くって語り合った後、蔵のギャラリー・結花さん特製のミニランチで会食。その後、粘土ワークで思いを表現してみよう。

第1部 高田さん囲んでミニランチ  
第2部 粘土ワークで思いを表現

ゲスト：高田けいこさん  
3.11をきっかけに南相馬市から茨山に逃、子供4人と避難中。  
相模湾河交協会主催の『うんのみい！朝市』に、南相馬市の市民団体のブース『コオラク』出店中。茨山コスベルママ『Bros』幹事

★日時：12月17日(月) 11:00~13:30  
★会場：蔵のギャラリー・喫茶 結花  
(松戸市下矢切89-4 TEL047-361-2103)  
★参加費：500円(ミニランチ代・要事前予約)  
★申し込みは電話またはメールで下記連絡先まで  
■主催：NPO法人コミュニティ・コーポレーション・タンクCoCoT

【申し込み・問い合わせ】  
地域活性化センター松戸 URL: <http://npo-cocot.com/>  
〒271-0062 千葉県松戸市南房2060  
TEL: 047-366-8909 または 080-5875-9910  
Email: [maki@npo-cocot.com](mailto:maki@npo-cocot.com)

会期NPO法人プロジェクト会 (この事業は賛助者の協力をかけて開催しています。)

○小池博史ブリッジプロジェクト「自分再発見」ワークショップ

日時：平成25年 3月29日（金） 19:30～20:45

3月30日（土） 10:00～17:00

3月31日（日） 10:00～15:00

場所：南相馬市 銘醸館（一番蔵）

内容：「自分再発見」ワークショップは、スロームーブメント（注：小物を拾い上げ再び戻すといった動作を日常の1/100以上のゆっくりとしたスピードで行ったり、非常にゆっくりと歩くなどを行う）などを通して、私たち自身の“からだ”に気づき、その“からだ”を通して再び自分自身と、自分を包んでいる世界との関係を見つめ直す。共に、自分らしさを再認識するためのワークショップ。

<http://npo-cocot.com/> (URL)

3月29日～31日 円居 in 南相馬

小池博史ブリッジプロジェクト「自分再発見」ワークショップ

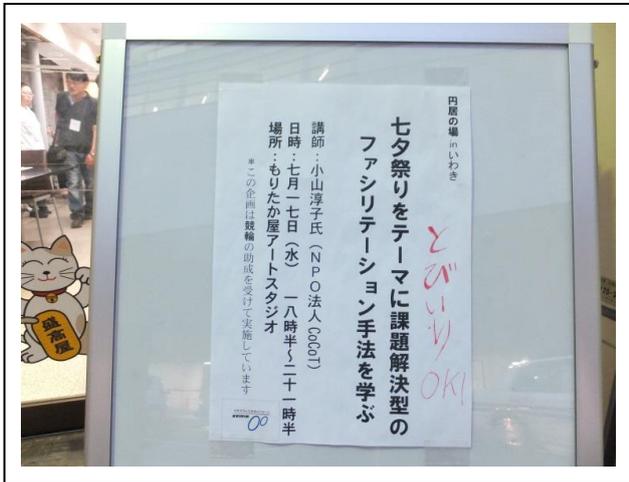


○円居の場 inいわき第3回

日時：平成25年 7月17日19:00～22:00

場所：もりたか屋アートスタジオ内 CoCoTの森

内容：「いわき七夕祭りをテーマに課題解決型のファシリテーション手法を学ぶ」



2 予想される事業実施効果

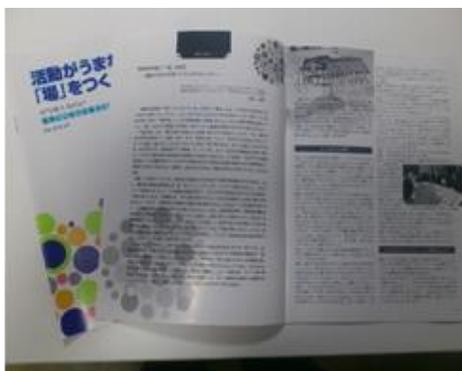
23年度設置した復興支援センター小名浜は、直 体支援に特化してほしいというニーズに応え、地元商店と企業の支援を受けていわき駅前に移転してした。支援団体をサポートする相談業務を中心に、情報収集と情報発信、およびそれを必要な人に手渡すマッチング機能と、地域の多様な主体を巻き込んでの相乗的な効果を狙ったコーディネーションを行える拠点「ポートカフェCoCoTの森」として運営している。

駅前に移転するに当たり、いわき市市民協働課に、団体の力づけや人材育成を目指したものの広報や情報提供の協力を依頼した。またいわき市社会福祉協議会ボランティア活動センターと協議し、民間中間支援組織として、NPO立ち上げ支援や企業・団体間のコラボレーション、福祉分野外のテーマが特化した団体情報の提供などを主な相談業務とし、互いにすみ分けて連携を強化することにした。今後は、地域の多様な立場の人々が集い、協働の方策を模索する協働プラットフォームとして機能することになる。

### 3 本事業により作成した印刷物等

活動がうまれる「場」をつくる -復興につながる場づくりの記録-

⇒ <http://npo-cocot.com/topix1.html>



### 4 事業内容についての問い合わせ先

所属機関名： 特定非営利法人コミュニティ・コーディネーターズ・タンク

住 所： 〒271-0092

千葉県松戸市松戸2050

代 表 者： 代表理事 川瀬 裕思 (カワセ ユウジ)

電 話 番 号： 047-366-8909

F A X： 047-369-7445

E - m a i l： [contact@npo-cocot.com](mailto:contact@npo-cocot.com)

U R L： <http://npo-cocot.com/>